

# 産官学連携推進事業（新潟県十日町市）

## 事例の概要

県内外の大学生が、十日町市の良さや強みを活かした「新ビジネス」のアイデアを競い合うコンテストを行い、そこで提案されたビジネスプランを事業化する市内企業に対して補助金を交付したり、県内大学生が市内企業を取材して、事業所の優れたものづくり力や想いを若者の視点で表現したカタログを発行することで、産官学の連携と地域経済の活性化を目指す。

## 事例の内容

事業主体：十日町市

事業内容：十日町市ビジネスコンテスト「トオコン」  
わか者ニュービジネス創造応援事業助成金  
ものづくり事業所受注カタログ発行

事業費：平成23年度 5.2百万円（うち過疎債 5.2百万円）

事業効果：○トオコンseason2（平成23年度）

・参加数 15チーム（県内8 県外7）

○十葉町スイーツグランプリ事業化（新潟産業大学提案）

○カタログ発行部数 450部（企業PRや首都圏への販路開拓等に使用）

その他：トオコン専用ホームページ <http://www.toocon.jp/>



## ポイント

○トオコン開始の経緯…市内に大学がない地域の「産官学連携」の在り方を模索し、市内の産業界と大学をつなぐきっかけとしてトオコンを開催。

○期待される効果…企業が大学を知ることによって大学の「とっつきづらい」というイメージを払拭し、技術連携や共同開発に乗り出す企業がでてきている。

○今後の展開…県内外の大学とのネットワークができ、企業視察や観光などで十日町市に関心を持つ大学生が増加してきている。産官学連携のみならず、地域活性化やシティプロモーション等の新しい取り組みを検討する。

